令和 4 年度 外務大臣表彰 台湾人受賞者に対する表彰式の実施について (上)

外務大臣表彰は、我が国との友好親善関係の増 進に特に顕著な功績のあった個人および団体につ いて、その功績を称えるものです。

今年度、台北事務所からの推薦により台日文化 経済協会、中華文化総会及び台中市白冷圳水流域 発展協会が、高雄事務所からの推薦により社団法 人台湾応用日語学会がそれぞれ受賞されました。 ご功績に対し、衷心より敬意と感謝を表します。

今月号では、社団法人台湾応用日語学会理事長 の受賞のお言葉を紹介いたします。

社団法人台湾応用日語学会

功績概要:台湾南部における日本研究の推進

台湾南部における日本研究の推進と支援を目的 として2002年に創立。2007年から毎年1回の年 次大会とともに国際学術シンポジウムを開催、日 本や韓国からも演者を招き日本研究を通じた国際 交流を展開。年次大会は日本語や文学に限定せ ず、多岐にわたる領域の日本研究者が研究成果を 発表し、研鑽を積む機会となっており、台湾全体 の日本研究の水準を高めることに寄与している。



外務大臣表彰 (董荘敬先生)

同時に台湾南部の大学と共催で国際学術シンポジ ウムを開催することで、南部の大学の国際化、学 術レベルの向上にも貢献している。

https://www.koryu.or.jp/news/?ItemId= 2976&dispmid=5287

2022年度外務大臣表彰を受賞して

台湾応用日語学会 理事長 文藻外語大学ヨーロッパ・アジア言語学院院長 董荘敬

この度、台湾応用日語学会設立20周年の節目 に当たる年に、外務大臣表彰という素晴らしい栄 誉を賜り、我々一同、より心が引き締まる思いで ございます。

台湾応用日語学会は、2002年7月27日設立、 2004年『台湾応用日語研究』創刊、2008年に国 際ジャーナルに昇格いたしました。また2010年 には会員が台湾における日本研究・日本語教育向 上という共通目的を共有し、「社団法人台湾応用 日語学会」として新たなスタートを切りました。 さらに当学会は、国際交流基金の「さくらネット ワークメンバー」にもなり、2020年には「日本 比較文化学会」と姉妹学会の協定を締結いたしま した。

このような素晴らしい本学会の体系を構築され てきた台湾応用日語学会の会員の方々、また、台 湾において日本語および日本の歴史、政治、経済、 法律、文化、社会、教育、翻訳、同時通訳を含む 広汎な学術領域ならびに応用言語の研究に携わっ てこられた台湾人、日本人研究者の方々の賜物で ございます。現在、私どもは、台湾の新しい世代 のために、台日関係のさらなる発展を目指し、日 本事情に関する研究を日々実践しております。さ らに、昨今、東南アジアの若者だけでなく日本か らも数多くの若者が日本語教育のみならず、台日 関係や海外から見た日本事情を研究するために、 台湾の大学や大学院に留学しています。これらの 学術を学び、研究する日本の若者の増加により、 台湾における日本語学や日本語教育を含む日本全 般に関する研究の国際性という新たな扉が開かれ るようになっただけではなく、良好な台日関係が、 今後も発展していくことは明らかです。海外の若 者が台湾の高等教育機関で、台湾から日本につい て改めて知見を得ることにより、広汎な日本に関 する学術領域ならびに応用言語に関する新たな発 見が生まれる土壌が、ここ台湾に作られつつあり ます。

このような環境下において、我々台湾応用日語 学会は、日本語学、日本文学、社会学、政治経済 学などの包括的な「日本学」「日本研究」を中心 とした研究分野において、学会会員の皆様の力を 合わせ、台湾における上記の研究分野の更なる発 展に寄与していく所存でございます。

最後になりましたが、この度の外務大臣表彰は、 当学会会員の皆様の学会に対する無私のご献身、 研究・教育活動、さらには日本台湾交流協会およ び国際交流基金の関係各位の皆様方のご支援、ご 協力無しには到底頂くことはできなかったと存じ ます。改めて、皆様方に深謝申し上げますと同時 に、当学会のますますの発展のためにも、今後と



外務大臣表彰 (団体)

も、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上 げます。ありがとうございました。